NIE実践報告

1．タイトル：**メディアを学ぶ**

2．学校名

広島県広島大学附属三原小学校

3．実践者名（代表者名）

杉川千草

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　38人

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞記事を読み解こう」「新聞記事とニュース番組を比べよう」「新聞記事にして伝えよう」

7．目標（狙い）

新聞記事やニュース番組を素材にして、受信者と発信者の両方の立場を体験させ、身の回りのさまざまな情報を正しく効果的に読み解き、自らの情報発信に生かしていく力を育てる。

8．評価の視点

同じ出来事を扱った新聞記事やニュース番組を比べ、発信者の意図によってさまざまな表現方法や受け止め方があることに気づくとともに、学んだことを生かして学校行事についての新聞記事をつくることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「メディアを学ぶ」（教科書教材：学校図書）計8時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①同じ出来事を扱った新聞記事を読み比べ、発信者の意図や表現方法の違いに気付く。（2時間）
②同じ出来事を扱ったニュース番組を比較し、伝えたいことに合わせた工夫や効果を分析する。（1時間）
③新聞記事とニュース番組を比べ、それぞれの特徴について整理する。（1時間）
④これまでの学習を生かして、学校行事についての新聞記事をつくる。（4時間）

（留意点）

- **新聞記事やニュース番組の比較については、子どもたちの興味・関心がある話題を選択する。子どもたちが記事の内容を把握しやすいように、号外や1面、社会面などを活用する。**
- **新聞記事の作成にあたっては、だれにどんなことを伝えたいかを考えさせ、見出し・本文・写真などのつながりを考えて、自分の伝えたいことを効果的に表現させる。実際の新聞記事を提示し、見出しの付け方や本文の書き方など基本的なことを確認させる。**
- **できあがった新聞記事を交流したり発信させたりすることによって、お互いの表現のよさを共有させる。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞記事やニュース番組の比較を通して、同じ出来事が発信者の意図によってさまざまに加工されていることに気付き、受け止め方に違いが生じることを実感できた。新聞記事作りでは、自分の伝えたいことに合わせて取材し、これまでの学習を生かして、お互いにアドバイスし合いながら内容や表現を吟味した。

12．成果と課題

今回の実践では、実際の出来事の映像をもとに同じ事実を扱った新聞記事やニュース番組を比べさせることによって、情報がどのようにつくられているのかを子どもたちに追体験させることができた。また、自分の意図が伝わるように表現方法を工夫しながら新聞記事をつくり、発信者としての立場を体験させることができた。今後も、子どもたちが社会の一員として、情報の主体的な受け取り手となることを期待している。